

KAMEYAMA展

稲垣美侑 / 加藤涼子 / 下村雄三 / 武井琴 / 森博幸 / 柳哲也

会期：2018年6月30日(土)~7月29日(日)

時間：11:00-19:00

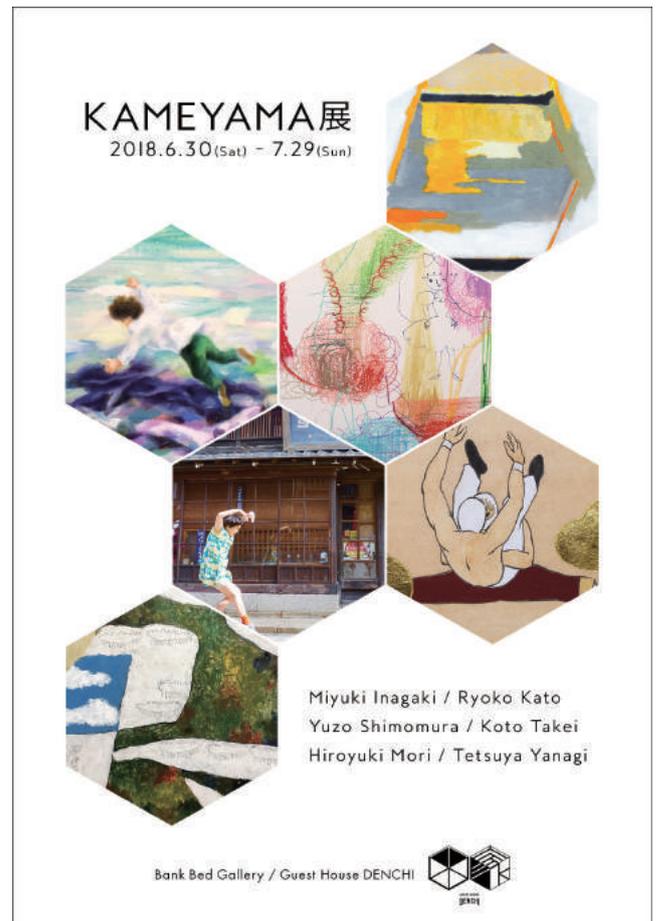
Reception Party: 6月30日(土)18:00~20:00

会場：Bank Bed Gallery / Guest House 田家 (DENCHI) 内

〒111-0035 東京都台東区西浅草2-8-5

協力：亀山トリエンナーレ実行委員会

(監修：元三重県立美術館長 井上隆邦)



Bank Bed Galleryとは、クリエイティブ複合宿泊施設としてアート作品やデザインの制作、展示・販売までを行うゲストハウス田家(DENCHI)が行うプロジェクトの一環です。アートを通じてお客様に「宿泊に+a」の価値をご提供する試みとして、2017年8月より始めました。

今回は、「KAMEYAMA展」と称し、三重県亀山市で開催される現代アートの祭典「亀山トリエンナーレ」に出展経験があるアーティスト6名によるグループ展を開催いたします。KAMEYAMA展のきっかけは、田家代表 キム テボンも、亀山トリエンナーレ(当時：アート亀山)で作品発表をしたことがあること。かつて東海道の宿場町として賑わった亀山の土地で作品発表をしたアーティストが東京・西浅草に再び集まり、現在の宿屋・ゲストハウス田家内をアートで彩ります。

稲垣美侑は、土地や人に内包された記憶とその痕跡を辿りながら、絵画イメージから派生するインスタレーションを中心に空間や状況に呼応する表現を軸として展開し、そこから派生する意味や価値を我々に問いかけます。決められたことから解放されたように自由に形成されていく加藤涼子のドローイングからは、曖昧で儚い子供の時の記憶を垣間見ているかのような感覚を覚えます。物語のワンシーンを切り取ったかのような構成で描かれる下村雄三のペインティングは、日常を取り巻く小さなドラマをファンタジックに描きます。武井琴は、コンテンポラリーダンスとコマ撮り技法を組み合わせる色鮮やかなアニメーションを発表します。劇場から飛び出し、森や畑、街中等様々な場所でのダンス表現の可能性を模索しています。森博幸は、日本画の材料・技法を用いながら、プロレス固有の様式を通して、現代における新しい古典の表現を試みます。抽象・具象を問わず、常に新たな表現を模索し、挑戦を続ける柳哲也は、独自の視点で切り取られた風景を1枚のパネルに落とし込んでいきます。

作品のジャンル、素材、コンセプト等が全く異なるアーティストが、各々築いた繋がりにより、新たな場所での作品発表へと広がりました。本展では、亀山で得た経験をベースに、東京・西浅草の土地で展示することを意識した作品も多く発表いたします。ゲストハウス田家ならではの空間もBank Bed Galleryで展示を楽しむ醍醐味です。これを機に是非ご覧いただきますようお願いいたします。



“所在の容”
2018
油絵の具、キャンバス
530×455mm

稲垣美侑 Miyuki Inagaki

1989 神奈川県生まれ
2014 東京藝術大学美術学部絵画科 油画専攻 卒業
2015 石橋財団短期派遣プログラム奨学生 (欧州研修渡航)
2015-16 École supérieure des beaux-arts de Nantes Métropole (France)
半期交換留学
2017 東京藝術大学大学院美術研究科 修士課程絵画専攻油画 修了
2017.4- 東京藝術大学大学院美術研究科 博士後期課程美術専攻油画 在籍



主な展示

2018 「綴り - VAN competition2018」株式会社ベリタス オフィス内 (東京)
2017 「亀山トリエンナーレ2017」岡田屋本店月の庭・奥庭 (三重)
「石橋財団・東京藝大油画 海外派遣奨学生展」陳列館, 東京藝術大学 (東京)
「アート・イン湯宿2017」みなかみ町湯宿温泉 (群馬)
「Rêver 2074 - 2074,夢の世界」大学美術館 B2F, 東京藝術大学 (東京)
「Through The Glass - AGC旭硝子×藝大 成果報告作品展」AGC Studio 2F 京橋 (東京)
「新鋭アーティスト発信プロジェクト A-Lab Artist Gate 2017」A-Lab (兵庫)
「第65回 東京藝術大学卒業・修了作品展」絵画棟F8, 東京藝術大学 (東京)



“ただよう”
2018
パステルクレヨン、色エンピツ、インク
275mm × 222mm

加藤 涼子 Ryoko Kato

1984 愛知県生まれ
2007 名古屋芸術大学美術学部 絵画科 日本画コース 版画科コース卒業
2009 同大学大学院美術研究科 美術専攻 修士課程修了

主な展示

2017 「亀山トリエンナーレ2017」 (三重)
2012 「個展」ギャラリーすずき (京都)
「2人展」ギャラリーくさ笛 (名古屋)
2011 「FreeFree展」伊勢現代美術館 (三重)
2010 「3つの新芽」ギャラリーくさ笛 (名古屋)
2008 「Fresh 個展」伊勢現代美術館 (三重)



“亀山ビルエット”
2017
ダンス×コマ撮りアニメーション

武井 琴 Koto Takei

1991 神奈川県生まれ
2014 立教大学 現代心理学部 映像身体学科 卒業
2016 文化庁・NPO法人DANCEBOX主催
「国内ダンス留学@神戸5期」参加

主な展示・発表

2018 IAG AWARDS 2018 (東京)
「POP GOES THE WEASEL」Williamsburg Art and Historical Center (ニューヨーク)
2017 劇団 贅沢貧乏 「フィクション・シティー」振付
「亀山トリエンナーレ2017」亀山トリエンナーレアワード受賞 (三重)
武井琴作品展「森へいこう」銀座プレイス ソニーイメージングギャラリー (東京)
2009 第11回 TBS DisiCon6 学生賞
2009年度メディア・コンテンツ大賞 高校の部 佳作
東京国際アニメフェア2010 公募部門 入選





“Unexpected”
2018
油絵の具、キャンバス
220×273mm

下村 雄三 Yuzo Shimomura

1981 三重県生まれ
2005 愛知県立芸術大学美術学部油画科 卒業
2007 愛知県立芸術大学大学院 美術研究科油画専攻 修士課程 修了

個展

2016 下村雄三個展 ギャラリーMOS (三重)
2014 「HUMAN GROVE CRUISE」トーキョーワンダーウォール都庁2014 (東京)
2005 「下村雄三展」日興証券ビルハセガワ・アート (名古屋)
「下村雄三展」赤十字献血センターロビー (愛知)



グループ展

2017 「coma art communication3」アートと珈琲のcoma (三重)
「素描展2017」ギャラリーMOS (三重)
2016 「三重の作家たち展2016」三重県総合文化センター (三重)
2015 「Far East Alliance -エラーが生んだ六つ子達-」Erewhon Center for the Arts (マニラ)
「coma art communication」アートと珈琲のcoma (三重)
「三重の新世代展」三重県立美術館 柳原記念館 (三重)
2014 「亀山トリエンナーレ ART KAMEYAMA 2014」亀山市文化財旧館家 (三重)
「トーキョーワンダーウォール2014入選作品展」東京都現代美術館 (東京)
「4つのしかく展」アートと珈琲のcoma (三重)
2013 「4th現代日本の視覚展」三重県立美術館県民ギャラリー (三重)
「アートハウスあいち展vol.4」アートハウスあいち (名古屋)
2012 「アートハウスあいち展vol.3」アートハウスあいち (名古屋)
「アート亀山2012 『LAUNDRY MUSEUM』」(三重)
2006 「第15回奨学生美術展」財団法人 佐藤国際文化育英財団 佐藤美術館 / 東京



“ライガーボム”
2017
岩絵具、膠、墨、麻紙、金箔、金泥、ほうじ茶
158×227mm

森 博幸 Hiroyuki Mori

1982 福岡県生まれ
2009 広島市立大学大学院芸術学研究科博士前期課程修了

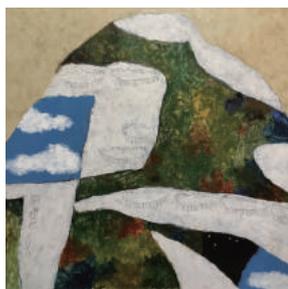
個展

2016 「レスルマン」GALLERY龍屋 (愛知)
「No Room for Squares」ヴァンヴェール珈琲 (福岡)
2015 「ストロング様式」GALLERY龍屋 (愛知)
2011 「pump up」GALLERY龍屋 (愛知)
2009 「プロレスの、つもり」Art Space HAP (広島)

グループ展・アートフェア等

2017 「KOGEI Art Fair Kanazawa」KUMU金沢 (石川)
「亀山トリエンナーレ」旧館家 (三重)
2016 「ART FAIR ASIA / FUKUOKA」ホテルオークラ (福岡)
2014 「第6回トリエンナーレ豊橋 星野真吾賞展」入選
2012 「第6回 前田青邨記念大賞展」入選
2009 「芸美会展」福屋八丁堀本店 (広島) [以降、毎年出品]
2008 「第7回 雪舟の里総社 墨彩画公募展」入選





“雪の残る山と虫”

2018
板パネルに油彩・油性塗料
802mm×802mm

柳 哲也 Tetsuya Yanagi

1974年 広島県生まれ 三重県在住

個展

- 2018 「ルサンチマン」 STUDIO DIFFUSE MAKE+ (大阪)
- 2017 「箱庭療法」 サロンモザイク (大阪)
- 2017 「蝶は蛾になりたいとは思っていないだろうが、蛾もまた蝶になりたいとは思っていないだろう。」 Galeria Punto (兵庫)
- 2017 「食糧庫」 シェトフ白揚文芸館2F (三重)
- 2015 「Zoo」 覚王山アパート (愛知)
- 2012 「冬眠展」 K.Art Studio (愛知)
- 2007 「虫のいる生活」 K.Art Market (愛知)
- 2004 「沈殿→浮揚」 アートギャラリー白揚 (三重)
- 2002 「分離→沈殿」 画廊喫茶Parus (三重)



グループ展

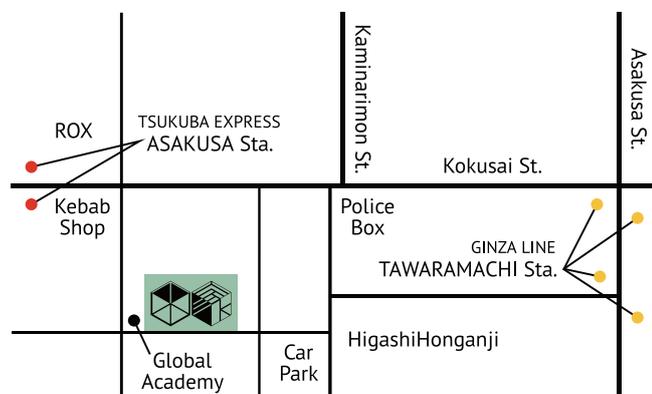
- 2017 SHOW CASE vol.4 (アトリエ三月/大阪)
- UNKNOWN ASIA 2017 (ハービスホール/大阪)
- For Beautiful Human Life vol.5 (ハートフィールドギャラリー/愛知)
- 亀山トリエンナーレ (三重)
- 遺され村の美術展 (滋賀)
- FOUCAS UNKNOWN ASIA GROUP SHOW (DMOARTS/大阪)
- 2016 PAINT 5 0 vol.4 (PIギャラリー/愛知)
- ファインアートコレクション イン クリスタルサロン (西宮阪急クリスタルサロン/兵庫)
- For Beautiful Human Life vol.4 (ハートフィールドギャラリー/愛知)
- あかマルシェ (中之島公園/大阪)
- UNKNOWN ASIA 2016 (ハービスホール/大阪)
- つくし賞・つくし堂 (セントラルギャラリー/愛知)
- 陽だまりの工房 (岐阜市文化センター/岐阜)

亀山トリエンナーレについて

三重県亀山市で開催される現代美術の芸術祭。三重県唯一の公募による現代アートの芸術祭で、2008年より開催されています。「『アート』を『街』に取り入れることで、人と作品が出会い、街の活性化と芸術文化の振興につなげる」がコンセプト。2017年には、若者を中心に100名を超えるアーティストが参加しました。展示の舞台は、商店街、旧東街道沿いの民家、寺社、市指定の文化財「館家」や「加藤家」など。

ゲストハウス田家(DENCHI)について

ゲストハウス田家は、[アトリエ]×[ギャラリー]×[ベッド]を合わせ、アート作品やデザインの制作、展示・販売までを行うクリエイティブ複合宿泊施設です。建築・デザイン事務所ウイングデザインオフィス（URL：www.wingdesign.net）によって設計・運営・管理されており、日本のアーティストの作品を発信すると共に、クリエイティブを身近に感じられるゲストハウスとして国内外の旅行者をお出迎えます。



〒111-0035 東京都台東区西浅草 2-8-5

TEL 050-1194-0168

MAIL info@denchi-asakusa.jp

WEB www.denchi-asakusa.jp

 www.facebook.com/guesthousedenchi

 [guesthousedenchi](https://www.instagram.com/guesthousedenchi)

本プレスリリースに関するお問い合わせ 担当：山本・小林 TEL: 03-5830-7263 MAIL: bbg@denchi-asakusa.jp

